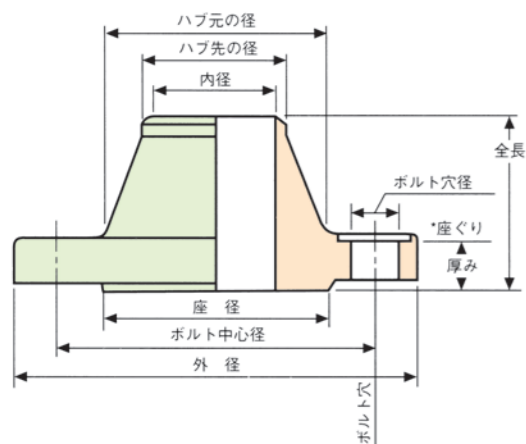
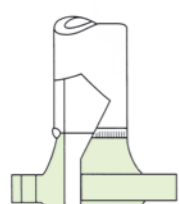


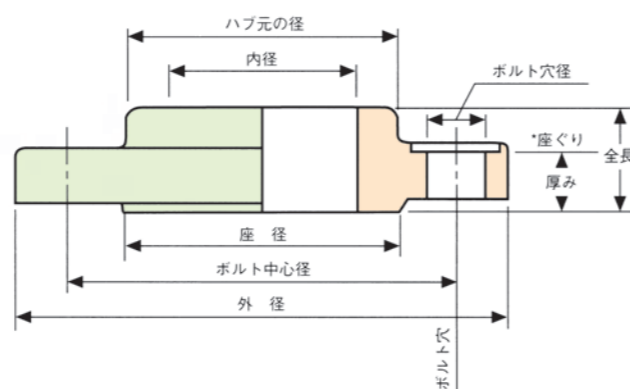
WELDING NECK



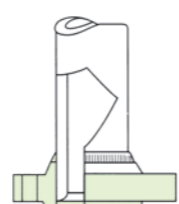
突合せ溶接形フランジ (WELDING NECK FLANGE) は、パイプに突合せ溶接する。この溶接は手又は自動溶接で行い、バグリングは用いる場合と用いない場合がある。



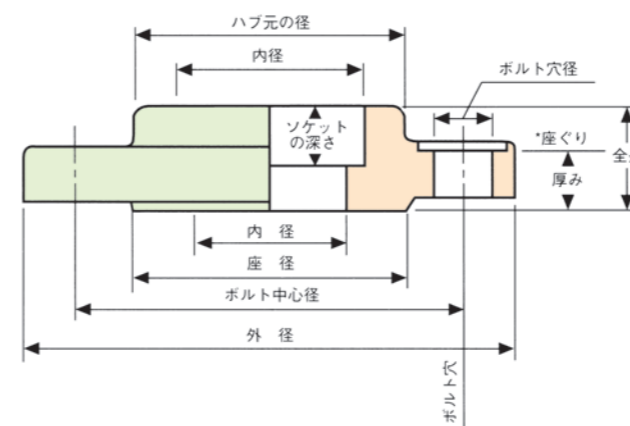
SLIP-ON



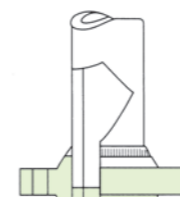
スリップオン形フランジ (SLIP-ON FLANGE) は、SLIP-ON PIPEと云われる様にパイプをフランジの中へ差し込み、フランジのハブの部分と、パイプの先の両方で溶接する。



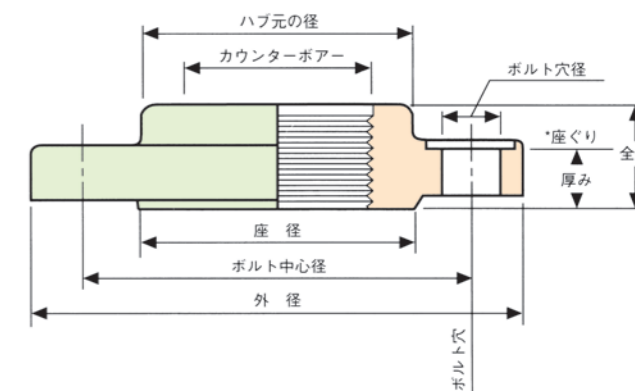
SOCKET-WELD



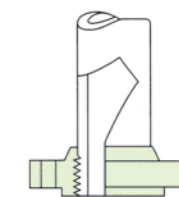
ソケット溶接形フランジ (SOCKET WELDING FLANGE) は、パイプの先端をフランジの内側のソケット部まで差し込みフランジのハブの部分で溶接をする。



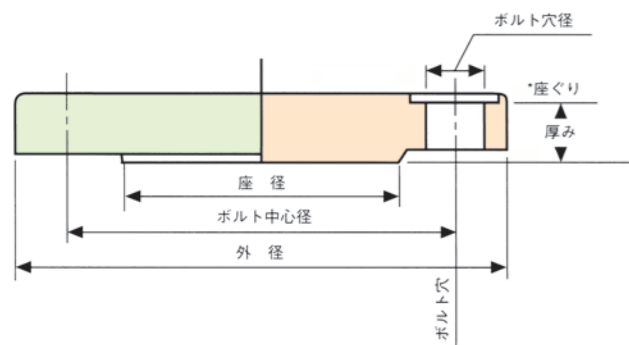
THREADED



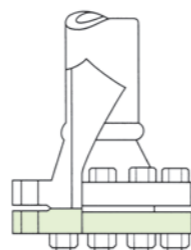
ねじ込み形フランジ (THREADED FLANGE) は、捻切りをしたパイプにねじ込んで取り付ける。



BLIND

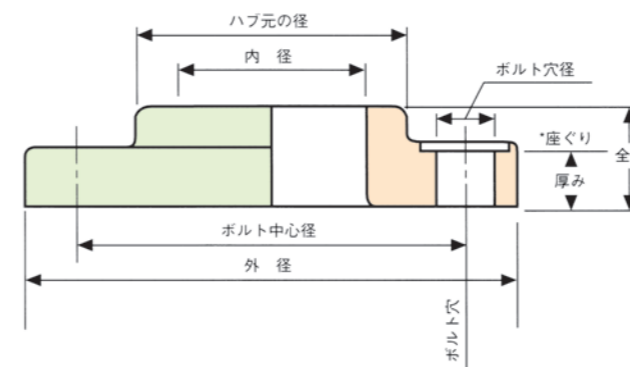


ブラインド形 (BLIND FLANGE) は、配管の際のパイプ、バルブや圧力容器の開閉部を閉じるために用いる。特に大径の場合、中心部にかかる内圧が大きいため同呼び圧力のフランジより、フランジの厚み、材質、ボルトの材質を高度にとる必要がある。

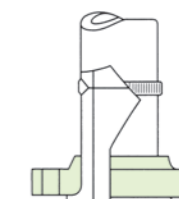


*背面を仕上加工した場合は、座ぐり加工の必要はない。

LAP JOINT



遊合形フランジ (LAP JOINT FLANGE) は、一般にスタップエンドと共に用いる。フランジとパイプの材質が異なる場合、又はフランジのボルト穴の位置を自由に調節する場合等に用いる。



*背面を仕上加工した場合は、座ぐり加工の必要はない。